

第6期事業年度

(平成21年度)

決算報告書

国立大学法人 帯広畜産大学

平成21年度 決算報告書 (第6期事業年度)

国立大学法人 帯広畜産大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,733	2,855	122	(注1)
施設整備費補助金	445	819	374	(注2)
補助金等収入	306	476	170	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	22	22	0	
自己収入	968	925	△42	
授業料、入学料及び検定料収入	777	760	△16	(注4)
雑収入	191	164	△26	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	678	819	141	(注6)
長期借入金収入	300	262	△38	(注7)
目的積立金取崩	250	393	143	(注8)
計	5,702	6,574	872	
支出				
業務費	3,271	2,952	△318	
教育研究経費	3,271	2,952	△318	(注9)
一般管理費	980	1,060	81	(注10)
施設整備費	467	1,103	636	(注11)
補助金等	306	474	168	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	678	781	102	(注13)
計	5,702	6,372	670	
収入－支出	0	201	201	

- 支出の教育研究経費及び一般管理費には、前年度からの運営費交付金繰越額のうち使用額156百万円を含んでいます。また、それに対応する収入として運営費交付金に相当額を計上しています。
- 支出の産学連携等研究経費及び寄附金事業費等には、前年度からの繰越額のうち使用額49百万円を含んでいます。また、それに対応する収入として産学連携等研究収入及び寄附金収入等に相当額を計上しています。
- 支出の教育研究経費には、損益計算書上の教育経費、研究経費、教育研究支援経費、教員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいます。また、支出の一般管理費には、損益計算書上の一般管理費、役員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいます。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当、研究推進、連携融合事業を前年度からの繰越額から支給したため、前年度の繰越額の使用額分が予算額に比して決算額が122百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、21年度補正予算の耐震・エコ再生事業等が交付され、その全部を支出したため、予算額に比して決算額が374百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、国からの補助金の獲得額が見込額を上回ったため、予算額に比して決算額が170百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として受験者数及び在籍学生数が見込数を下回ったため、予算額に比して決算額が16百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、農産物売払等収入および家畜病院の診療収入等が見込額を下回ったため、予算額に比して決算額が26百万円少額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国等からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が141百万円多額となっています。
- (注7) 長期借入金収入については、借入金額が見込額を下回ったため、予算額に比して決算額が38百万円少額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩額については、当初予算段階で計上していなかったコミュニケーションプラザ（仮称）改修事業を計上したことにより、予算額に比して決算額が143百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、予算額に誤って長期借入金分が計上されていたことと経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が318百万円少額となっています。
- (注10) 一般管理費については、退職手当支給者数の増及び管理経費の増加等により、予算額に比して決算額が81百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費補助金については、予算額が誤って長期借入金分を未計上にしていたことと、（注2）に示した理由により、予算額に比して決算額が636百万円多額となっています。
- (注12) 補助金等については、（注3）に示した理由により、予算額に比して決算額が168百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、（注6）に示した理由により、予算額に比して決算額が102百万円多額となっています。